



22nd-23rd July 2023
HAKUBA/OTARI 白馬/小谷
PROGRAM

タイムスケジュール

TIME SCHEDULE

21日(金)	15:00~21:00	イベントセンター (以下 EC) 内受付	出場登録受付、キャンプサイト宿泊受付 1) キャンプサイトでの宿泊も可能です。 2) 受付にてコースマップや1日目得点表等を配布します。 3) 本プログラムに記載していない追加のルールや注意事項がある場合は受付の掲示板にてお知らせします。 4) 受付後は地形確認やルートの作戦会議をすることも可能です。またイベントスタッフに地図読み・コンパスワーク等のアドバイスを受けることも出来ます。
22日(土)	08:00~9:15	EC 内受付	出場登録受付
	09:45~	EC 前広場	追加のルールアナウンス
	10:00~10:14	EC 前広場	グループ1 スタート時間帯
	10:15~10:29	EC 前広場	グループ2 スタート時間帯
	スタートから5時間後 その30分後 16:00		競技時間終了(これ以降のフィニッシュは遅刻減点) 制限時間(これ以降のフィニッシュは失格) フィニッシュ閉鎖
	フィニッシュ後	EC 内受付	2日目得点表配付
	~22:00	EC 内外	Bar、ケータリング 終了
23日(日)	07:00~08:00	EC 内	朝食弁当(※競技参加者は無料)
	08:45~	EC 前広場	追加のルールアナウンス
	09:00~09:14	EC 前広場	グループ2 スタート時間帯
	09:15~09:29	EC 前広場	グループ1 スタート時間帯
	スタートから4時間後 その30分後 14:00		競技時間終了(これ以降のフィニッシュは遅刻減点) 制限時間(これ以降のフィニッシュは失格) フィニッシュ閉鎖
	14:30~	EC 前広場	表彰式

1. 競技ルール

COMPETITION RULES AND CONDUCT

この競技は全参加者がフェアプレー精神をもち、かつ安全を確保しながら、競技中の行動、装備に責任を持つというルールを守ることで成り立っています。以下のルールを厳密に守ってください。これらのルールに違反する行為を見つけた場合は即失格とし、今後、本競技への出場が許されない場合があります。

もっとも重要なルール・お願い

本イベントの計測システムでは SI チップを利用します（利用方法は**後述**）。1 日目～2 日目を通して**1 チーム 1 つ、同じ SI チップ**を使用します。

一度受付にて出場登録したチームは、**コースを完走した場合でも完走できなかった場合でも、7 月 23 日(日)14:00 までに SI チップをフィニッシュ係員へ返却**してください。もし**返却がない場合は、遭難者として扱われ検索対象となる場合があります**。その場合の検索費用は検索対象となったチームに支払い義務があります。

競技中はもちろん、スタート前、キャンプ中に **SI チップを紛失した場合は、いかなる理由でも失格として扱われ、SI チップ代金 5000 円を請求**します。**SI チップを破損した場合は、失格とはしませんが、SI チップ代金 5000 円を請求**します。

基本ルール（成績の付け方と競技時間）

時間内にできるだけ多くのコントロール（いわゆるチェックポイント）をまわります。コントロールにはそれぞれ得点が決められており、2 日間でまわられたコントロールの合計得点を競います。同点の場合はフィニッシュした時間が早いチームが上位となります。

コントロールに設定される得点は各日で異なります。2 日目に 1 日目と同じコントロールに行った場合も、2 日目の得点がつきません。またコントロールには撤収時刻が設定されています。撤収時刻以降はコントロールがない場合があります。

下表の通り競技時間があります。**スタートにて SI チップをチェックした瞬間からカウントが始まります。スタートで SI チップをチェックしないとすべての記録が残らないのでご注意ください。**競技時間以降にフィニッシュしたチームの得点は 1 分につき 5 点減点されます。競技時間オーバー後 30 分以内にフィニッシュに戻れなかった場合はリタイア（ret）扱いとなります。

立入禁止区域への進入やルール違反があった場合は失格（DSQ）の扱いとなります。

成績は完走（得点順、同点の場合はタイム順）、リタイア、失格の順で表記されます。

「2 日間の成績がリタイアまたは失格ではない」チームのみが総合成績の対象となります。

なお 1 日目にフィニッシュを通過しなかったチーム、悪質なルール違反があったチームは 2 日目の競技に出走することができない場合があります。

ライト バイク 共通 競技時間	1 日目	2 日目
	5 時間	4 時間
	遅刻 1 分につき 5 点減点 30 分以上遅刻で失格	

その他ルール

1. 1チーム/2名~5名のチームエントリー制です。健康な14歳以上であれば参加できます。ただし、各チームに成人が最低1人必要です。
2. チームメンバーは**常に一緒に行動してください**。コース中ではお互いの声が届く範囲に収まってください。チームメンバーの1人が健康上の理由（怪我、疲労、脱水症状など）で競技を続行できなくなった場合は、即座に競技を中断し、残りの選手は救助要請するための行動を取ってください。地図には緊急連絡用の電話番号を記入してあります。携帯電話は谷や山の斜面の陰となる一部の場所を除きほとんどのエリアで利用できます。
3. **地図上で示された道（道路、軽車道、徒歩道、園内路、）および「公園・広場・荒地・通行可能なスキー場」で示された場所以外の通行を禁止**します。地図上で立入禁止区域として示された場所では道の利用も禁止します。道以外の場所や立入禁止区域内の通行が発覚した場合は失格とします。ただし**ライトでは一部の森林で道を外れることができます（バイクは不可）**。詳細は地図を確認してください。
4. **ライトでは岩岳のゴンドラを利用することができます**。ゴンドラ利用時は受付で配布するリストバンドが必要です。ゴンドラ乗車待ちの時間も競技時間に含めます。バイクでは競技中にゴンドラを利用することはできません。
5. すべてのチームは競技中いかなるときでもイベント役員による装備チェックを受ける可能性があります。装備チェックは受付前の出場登録時に各チームの責任で行ってください。装備品の不足などルール違反が判明した場合、装備チェックを拒否した場合は失格とします。
6. 全てのチームは指定された装備を**全て着用または持ち歩かなくてはなりません**。**荷物・自転車を置いたまま行動する行為（デポ）はルール違反です**。違反が判明した場合は失格とします。
7. ペットを連れての出走は禁止します。
8. 競技前ならびに1日目と2日目の間にコントロールを探す目的で競技エリアに立ち入ることを禁止します。
9. 携帯電話などの通信デバイス、GPS機器の携帯は可能ですが、**競技中の音声通話、データ通信、ナビゲーションへの利用は禁止**します。ただし1日目と2日目の競技の間の利用、競技中でも事故・自然災害・体調不良者の発生など安全確保を優先すべき場合、地元住民からのクレームなど緊急時・非常事態時の利用は制限しません。高度計の利用は制限しません。
10. 仮装や裸での出走やその他公序良俗に反する行為があった場合、他のチームを危険にさらした場合は失格とし、今後の本競技への出場が許されない場合があります。
11. 競技中にコンビニエンスストアや店舗で食料・水などを各自で購入し補給することは可能です。
12. 2日間ともにスタート/フィニッシュ地点はイベントセンター前広場です。
13. コントロールの得点および撤収時刻は受付で配布される得点配置表に明記されます。
14. 1日目と2日目の間の宿泊のルールは定められていません。イベントセンターや周辺のキャンプ場での野営、もしくは近隣のホテル、民宿などの宿泊施設を利用することも可能です。またイベントセンター周辺のキャンプエリアに事前にベースキャンプを設営することが可能です。
15. コース上での野営は禁止します。

自然や地域への配慮

いかなる場合もゴミは捨てないようにしてください。落し物にも注意し、他者のごみが落ちていた場合は拾うよう心掛けてください。

コース上および周辺エリアの動植物の採取や損傷を与える行為は禁止します。

競技用の靴は底をよく洗って、他所の土や植物の種等を競技エリア地域に持ち込まないようにしてください。

地域住民や観光客にはあいさつを心がけてください。競技中や競技前後に店舗や宿泊施設を利用する際は各施設の指示に従い節度ある行動をお願いします。

バイク乗車中は道路交通法を遵守し、交通マナーを守ってください。

2.安全性の確保

EVENT SAFETY

イベント主催者は競技ルールに則り行動すれば参加者が自分自身でリスクを管理できるよう用意しています。各チームは、どのような天候でも競技に耐えられる装備を用意する義務があります。また、自然のリスクは天候だけでなく、熊や蜂などの動物、落石、滑落などもあります。本プログラムを参考に、参加にふさわしい準備をしてください。

完走が難しいチームは日没前までに緊急連絡先へ連絡し、安全を確保してください。コース上での野営は禁止します。

知識とスキル

アウトドアで活動することの意味を理解し、知識やスキルを駆使して安全を確保してください。イベント主催者が参加者のスキルが著しく不足していると判断した場合、チーム登録の変更を促す場合があります。

装備

必須装備は最低限必要なアイテムです。参加者の判断で必要な装備を積極的に補充してください。

チームワーク

この競技はチーム競技です。チームメンバーに問題が発生した場合、あなたが最初の救援者となります。チームメンバーの状態把握と必要に応じたケアを常に意識してください。

チームメンバーの1人が身体上の理由で競技を続行できなくなった場合は、即座に競技を中断し、安全な場所で待機し、本部と積極的に連絡を取ってください。雨の場合は必要に応じてレインウェアを着用してください。熱中症予防にも十分注意してください。

SI チップは必ず返却を

SI チップの確認は、皆さんがフィニッシュへ帰還したことを確認するための唯一の手段です。繰り返しになりますが、日曜の14時までに返却がない場合は、遭難者として扱われ検索対象となる可能性があります。その場合の検索費用は検索対象となったチームに支払い義務があります。

アウトドアでの適切な判断 (SOUND MOUNTAIN JUDGEMENT)

競技中にどのようなリスクがあるか知っていること、自分の限界を知ること、天候等の状況変化を常に把握すること、自然の中では「その時」になってからでは遅いことを踏まえて、これから起こることを常に予測することによって競技中のリスクを適切にコントロールすることができます。次項目にて今回のイベントで特に注意が必要なリスクと対処法について記します。

競技に夢中になり、みなさんが本来の取るべき行動をおろそかにしないでください。チームごとに熟練度は異なります。スタート時刻も異なっています。目の前の相手と競い合うことが適切とは限りません。競技中の自分の安全を守るために最善の行動を判断することが参加者に求められます。

特に注意が必要なリスク

①交通事故

歩行者や自動車、踏切など一般の交通がある道路を通行します。交通ルール・マナーを守り、交通事故に遭わないよう行動してください。バイクでは加害者となる可能性もあります。交通法規を遵守してください。

②バイクでの転倒

下り坂でのカーブ、山道での下りなどで転倒するリスクが高まり、状況によっては骨折などの大怪我につながります。そのような路面での技術がない場合は、バイクを下りて押して通行するなど無理のない行動をとってください。

③熱中症

例年、気温が高い中でのイベント開催となります。帽子の着用やこまめな水分・ミネラル補給を心がけ、熱中症を予防してください。自分自身あるいはチームメイトに熱中症の兆候を感じたら、水分補給やミネラル補給を行い、日陰で休んでください。川での水浴びも体温を下げる点では効果的です。ただし農業用水路には入らないようにしてください。重症の場合は役員待機所（マーシャルポイント）や緊急連絡先に連絡してください。

④低体温症

雨が降ると冷え込むことも予想されます。気温が高くても雨に濡れ続けると低体温症となる場合があります。雨具を着用し、身体が冷える場合は防寒を心がけてください。自分自身あるいはチームメイトに低体温の兆候を感じたら、雨宿りできる場所で身体を拭いたり着替えたりして保温に努めてください。重症の場合は役員待機所（マーシャルポイント）や緊急連絡先に連絡してください。

⑤河川の徒渉について

ライト・バイクとも川幅 50m 程度の徒渉ポイントがあります。その他の場所でも川幅 1～3m 程度の小川を橋を使わず徒渉する場合があります。天候によっては水流が強い場所を横断する可能性も生じます。川の中での転倒は命に関わる危険もあるため、川を見て徒渉に伴うリスクの有無を判断し、対応できることが必要です。フットエントラップメントやストレーナーなどの徒渉知識やそれに対応する技術がないチームは徒渉を回避してください。

⑥クマ・イノシシ・ハチなどの野生動物

一般的な山野と同程度の遭遇可能性があります。クマに対してはクマ鈴の携帯を推奨します。また各野生動物遭遇時の対応法について把握した上での参加を推奨します。

⑦落雷

雷鳴が聞こえた場合は建物の中やトンネル内などで安全を確保し、雷が収まるのを待ってください。スキー場や山の稜線上では安全を確保できる場所は少ないです。雷鳴が聞こえなくても遠くの空に黒い積乱雲があればその方向へ向かわない、早めに市街地へ向かうといった事前の行動も大切です。

⑧急斜面の対応

落石や崖の崩壊、滑落・転落の危険が常にどこにでもあります。場合によっては致命傷となる可能性があります。土砂が流れた跡や転石が多く見られる斜面、その下にある道では特に注意が必要です。雨の最中や直後はさらに流れることも予想した行動やルート選択を心がけてください。

⑨林内の落下物

林の中では倒木や落ち枝など落下物の可能性が常にあります。落下前には大きな音がするので異常音を察知したら回避・防衛のための行動を取ってください。

⑩感染症

新型コロナウイルスを始め各種感染症に感染する可能性があります。食事前後の手洗いなど一般的な感染症対策を心がけてください。また事前に体調を管理し、感染症の疑いがある場合はご自身と他者の健康のため出場を見合わせてください。

緊急時の対応について

リタイアした場合は自力でフィニッシュ（イベントセンター）に戻ることが原則ですが、重大な事故の発生や急病による重症化など緊急事態が発生した場合は、イベント主催者にて山岳救助隊や救急隊の救助活動を要請します。

1日目および2日目ともフィニッシュ閉鎖時刻までに戻ることができない場合は、積極的にイベント本部と連絡を取り合ってください。連絡が取れない場合は遭難者として検索対象になる場合があります。万が一、イベント本部と連絡が取れず日没を迎えた場合は、安全確保を優先し、むやみに動かさずその場で救助を待ってください。

携帯電話の通話エリアについて

携帯電話での通話やデータ通信はほとんどのエリアで可能ですが、標高の高い稜線や深い谷の中、山の陰となる場所など一部エリアでは通話・通信ができない場合があります。主要道路や集落に近づけば通話・通信可能です。

自然災害発生、非常事態時の競技続行について

大地震や急な落雷・豪雨などの緊急事態が発生した場合、競技続行の判断について、参加者は携帯電話を用いて下記ウェブサイト（OMMのNewsページ）にアクセスし、競技の続行、中断について確認してください。緊急連絡先の電話番号は1つしかありません。やむを得ない場合を除き、できる限り下記サイトから確認するようにしてください。

<https://theomm.jp/news/>



3. イベントセンター・出場登録・交通

EVENT CENTRE, EGISTRATION, FRIDAY NIGHT CAMPING & CAR PAKING

出場登録受付時間

7月21日(金) 15:00~21:00

7月22日(土) 08:00~09:15

出場登録

出場登録はイベントセンター建物(ホワイトプラザ)内の受付にて行います。受付での混雑回避のため、代表者1名でお越しの上、出場登録をお願いします。

事前に各チームの責任で装備チェックを行ってください。受付時にはイベント役員で装備チェックは行いません。必要な装備が不足していることが判明した場合は失格となります。

受付にてSIチップ、地図、1日目の得点表を配布します。SIチップはチームに1個配布します。SIチップにはチーム番号のラベルが張り付けてありますので各チーム番号に間違いがないか確認してください。SIチップの利用方法については「5.競技の流れ」を参照してください。SIチップの紛失には十分ご注意ください。

また競技上の注意事項を掲示板にてお知らせします。必ずご確認ください。地図やルール、注意事項など不明な点があればイベントスタッフからアドバイスを受けることも出来ます。

イベントセンターまでのアクセス

■電車を利用の場合

白馬駅から発着する花三昧バス(岩岳マウンテンリゾート)をご利用いただくか、信濃森上駅から徒歩でお越しください。(バス時刻表: <http://www.vill.hakuba.nagano.jp/privilege/hanazanmai/>)

■車を利用する場合

- ・長野ICから: 長野ICで降りた場合、川中島古戦場を越え、下氷砲南信号を左折。長野南バイパス→国道19号→県道長野大町線(31号=オリンピック道路)にて白馬へ。
- ・安曇野ICから: 長野自動車道「安曇野IC」で降り、直進。スイス村を越え、重柳交差点を右折。高瀬川沿い堤防道路(通称:北アルプスパノラマ道路)を直進、大町市内以降は国道148号線で白馬へ。
- ・駐車場: 次ページ地図にある駐車場を順次案内します。係員の誘導に従って駐車してください。オートキャンプ希望者は受付後にオートキャンプサイトに入場してください。

前泊について

7月21日(金)から一般キャンプサイト・オートキャンプサイトにて宿泊可能です。**必ず受付をしてからテントの設営を行ってください。受付前および受付終了時刻以降のテント設営は禁止です。**

駐車場での車中泊は受付前および受付終了時刻以降でも可能です。但しエンジンのかけっぱなし、その他近隣の騒音になるような行為はくれぐれもご遠慮ください。

チーム登録変更について

7月12日（水）以降、チームメンバーの変更はできません。欠席者が出て1人になった場合、受付にて申請いただければ他チームに合流することができます（結果速報では変更が反映されない場合があります）。

出場登録後の欠場について

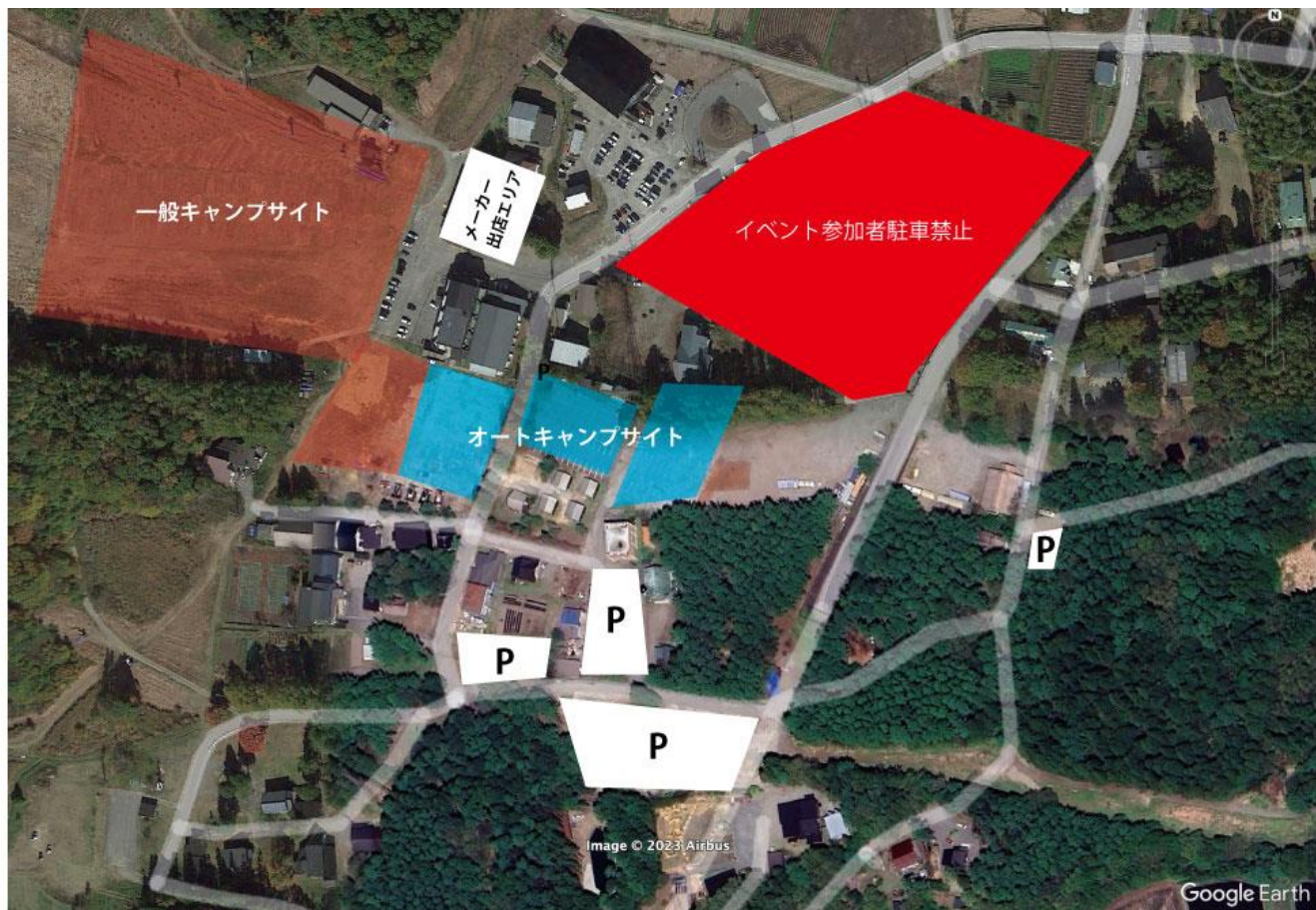
受付で出場登録をした後に出走を取りやめるチームはイベント本部にSIチップを返却し、リタイヤ処理を受けてください。なおいかなる理由でも欠場の場合は参加費用の返金はありません。予めご了承ください。

物品販売について

7月21日（金）～23日（日）までイベントセンター内の各ブースにて販売が行われます。ぜひご利用ください。

近隣の商店について

白馬村にはスーパーやコンビニエンスストアがいくつかありますが、イベントセンター周辺に店舗はありません。



4.地図と競技エリア

THE MAP & COMPETITION AREA

地図仕様

ライト 縮尺 1:25,000 等高線間隔 10m 磁北線記載済み

バイク 縮尺 1:30,000 等高線間隔 10m 磁北線記載済み

国土地理院発行の地形図をベースに独自調査による林道や徒歩道、立入禁止区域や危険個所の追記がなされています。地図には凡例（記号一覧）を記載してあります。

受付時に地図を配布します。2日間とも同じ地図を利用してください。**ライトとバイクで地図が異なります。**取り違えに注意してください。地図は耐水加工されていません。地図と一緒にチェック付きポリ袋を用意しますが、2日間にわたる競技となりますので途中で破損する可能性もあります。各チームの責任でその他の耐水加工を行うことができます。

競技エリア

岩岳スキー場を中心に白馬村、小谷村内を巡ります。ヨーロッパの雰囲気をおもわせるスキー場や別荘地、日本らしい里山の集落、田園、白馬岳をはじめとする北アルプスの峰々など多彩な風景を楽しむことができます。競技エリアは標高 450m から 1300m に位置し、カラマツの植林地、ブナ林、スキー場の草地や水田など様々な植生が分布しています。山の傾斜は概して急峻ですが、尾根上は比較的平坦です。一部エリアには林業用造成道が発達しています。

立入禁止区域について

地図上で道（道路、軽車道、徒歩道）および「公園・広場・荒地・立ち入り可能なスキー場」で示した場所以外の通行を禁止します。地図上で立入禁止区域として示された場所では道の利用も禁止します。道以外の場所や立入禁止区域内を通行したことが発覚した場合は失格となります。ライトでは、地図上で「立ち入り可能な森林」で示した場所でも道を外れることができます（バイクは立ち入り不可）。詳細は配布される地図を確認してください。

過去3年間の気象状況

白馬（標高 703m 地点）の過去3年間の天候

日付	降水量	最高気温	最低気温	日照時間(h)
2022年7月22日	9.5 mm	25.6℃	18.5℃	1.6
2022年7月23日	11.5 mm	24.3℃	18.3℃	6.6
2021年7月22日	0.0 mm	31.6℃	17.6℃	10.9
2021年7月23日	0.0 mm	31.8℃	19.6℃	6.5
2020年7月22日	0.0 mm	26.6℃	18.7℃	7.6
2020年7月23日	4.0 mm	21.2℃	17.0℃	0.0

※標高が 100m 上がるごとに約 0.6℃気温が下がります。

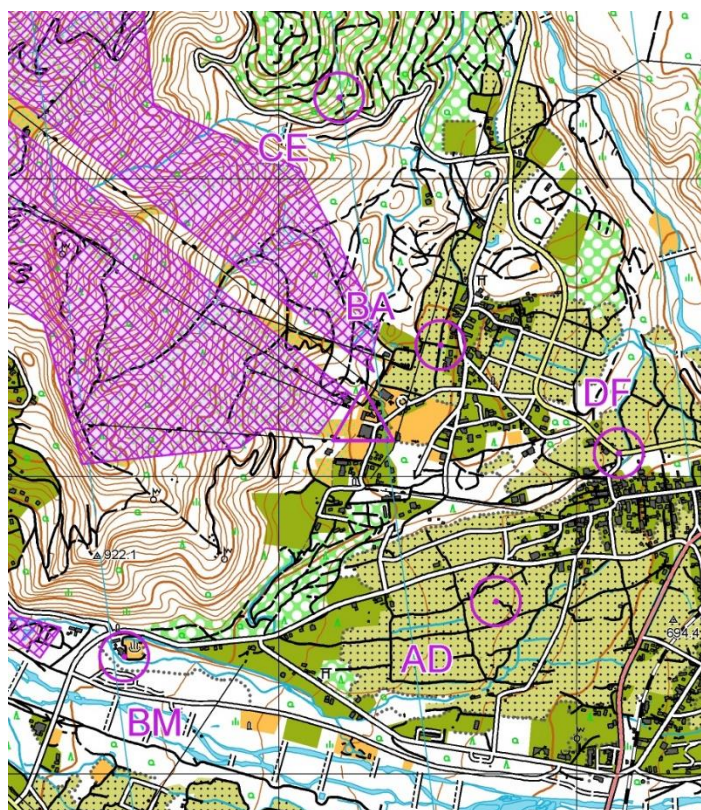
コース概要

コースは下記の例の通り、紫に近い色で記載されます。△がスタート・フィニッシュ、○がコントロールです。コントロールは○の中心にあります。○のそばに描かれたアルファベット 2 文字はコントロールを識別するための記号です。（例：AD、BA、CE など。）

コントロールが具体的にどのような場所にあるかの位置説明、コントロールの得点、およびコントロールの撤収時刻はスタート前に配布される得点表に記載されています。

スタート後は自由にコントロールを回って来てください。最後に必ずフィニッシュ（スタート地点△）へ戻って来てください。イベントセンター周辺の多くは立入禁止区域になっています。決められた方向からフィニッシュにアクセスしてください。

ライトでは岩岳のゴンドラを利用することができます。ゴンドラ利用時は受付で配布するリストバンドが必要です。またゴンドラ乗車待ちの時間も競技時間に含めます。バイクは競技中の利用はできません。、競技後にご利用ください。



地図に描かれるコースの例

識別記号 Code	得点 Score	位置説明	Description	撤収時刻 Closing Time	備考 Remarks
AD	50	小道の終わり	End of path	12:30	
BA	10	道の交点	Crossing	13:00	
BM	30	小道の曲がり	Path bend	12:00	
CE	20	小道の終わり	End of path	12:00	
DF	20	道の分岐	Junction	12:30	

得点表の例

5. 競技の流れ

from START to FINISH

1 日目 スタート グループ1 10:00~10:14/グループ2 10:15~10:29

イベントセンター前広場よりスタートします。スタートスペースの確保にご協力をお願いします。

本プログラムや受付の掲示板ではお知らせできなかった追加の注意事項があれば 9:45 ごろとスタート開始時にマイクアナウンス等でお知らせします。

スタートは 2 グループに分かれて行きます。指定されたグループのスタート時間帯にスタートしてください。スタート順およびスタート間隔は指定しないので準備ができたチームから順次スタートにお越しください。スタート待ちで並ぶ場合は係員の指示に従って並んでください。

ライト バイク 共通	グループ 1	グループ 2
1 日目 スタート時間	10:00~10:14	10:15~10:29

スタート直前にスタッフが SI チップの動作確認を行います。問題がなければ**スタートステーションにパンチしてスタート**してください。スタートパンチした瞬間から競技時間がカウントされます。スタートパンチをしないと正しい記録が残らないのでご注意ください。スムーズなスタートができるよう、すみやかなスタートにご協力をお願いします。

スタート時間帯を過ぎてもスタートできますが、制限時間・フィニッシュ閉鎖は正規の時間帯から計算されます。余裕を持ってスタートすることをお勧めします。

SI チップの使い方

(1) SI チップとは？

SI チップの先端部分には記録素子が入っていて、コントロールでのチェック時にデータが記録されます。

(2) 腕への固定

SI チップは 1 チームに 1 つ配布します。代表者の腕にバンドでつけます。2 日目競技終了まで同じ SI チップを利用します。SI チップは、競技中は必ず手首に装着してください。リュックサック、バイクバックへの固定などは禁止します。1 日目の競技終了後は外しても OK ですが、紛失には十分に注意してください。SI を紛失した場合はいかなる理由でも失格となります。



SI チップの腕への固定方法

(3) コントロールの構成

コントロールには SI ステーション、針パンチ、フラッグが設置されています。

(4) コントロールでのパンチ方法

SI ステーションには識別記号が書かれています（写真例では AD が識別記号）。これは地図に描かれたコントロール識別記号に一致します。この記号を確認することで正しいコントロールに辿りついているかどうかをチェックすることができます。

コントロールの得点は地図とは別に配布する得点表に記載されています。

コントロールでのパンチは SI ステーションの穴に SI チップの先端を挿入することで行います。正常にパンチすると SI ステーションは音と光を発生しますので、音と光を必ず確認してください。もし音も光も発生しない場合には、針パンチを使って地図の任意の場所に穴をあけてください。針パンチを行った場合には、フィニッシュ後に計測センター役員に申告し、確認を受けてください。

コントロールで識別記号を確認し、**確実にパンチをすることは競技者の責任**です。パンチの記録が残っていない場合は得点として認められません。



コントロールの構成（左）と SI チップによるパンチ方法（右）

(5) パンチの練習

イベントセンター受付付近にコントロール見本を設置します。実際にパンチの試行を行うことが出来ます。このパンチは SI チップには記録されません。

1 日目 フィニッシュ

指定された方向からフィニッシュに向かってください。ライトとバイクでレーンが分かりますので指示に従ってください。フィニッシュラインで**フィニッシュステーションにパンチ**してください。フィニッシュステーションにパンチした時刻がフィニッシュ時刻として記録されます。

フィニッシュ後は**代表者のみ計測センター**へ向かい、係員の指示に従い SI チップの内容を読み取り、1 日目のデータをクリアしてください。回ってきたコントロールと時刻を印刷したシート（右図参照）を渡します。内容に間違いがないかチェックしてください。**競技結果に関するクレームはフィニッシュ後 15 分以内に計測センターで受け付けます。**

フィニッシュは **16:00** に閉鎖します。

1 日目の結果速報はウェブ上で公開し、16:30 頃までにイベント本部前に公式記録を掲出します。

フィニッシュ後、本部受付にて 2 日目の得点表を配布します。

OMM JAPAN 2016 Score day1
Score Long
男子
田中 中悟
竹利 内樹
Start no: 163
Chip: 1402129
Result: 880点
Time: 6:46:15 (0)

No	Pts	Code	Time
1	10	AC	08:29:19
2	10	CD	08:35:54
3	10	DD	08:39:36
4	50	BA	08:56:24
5	40	DA	09:28:06
6	60	CD	09:40:38
7	70	BB	10:01:03
8	40	BE	10:13:31

ゴールで渡すシート（例）

1 日目 リタイア・タイムオーバー・2 日目未出走の場合

途中でリタイアする場合も必ずフィニッシュへ向かい、SI チップの読み取りを行ってください。フィニッシュ閉鎖後に戻った場合も必ず計測センターまたは受付にて SI チップを読み取ってください。SI チップの読み取りをしていないと遭難者として検索対象になります。また読み取り処理をしなかったチームは 2 日目の競技に出走できません。

16:00 までにフィニッシュへ戻ることができない場合は積極的にイベント本部と連絡を取り合ってください。日没を迎えた場合は、その場に留まり救援を待ってください。

翌朝までに 2 日目の競技に出走しないことを決めたチームは、受付へその旨を申し出て SI チップを返却してください。返却しないで帰宅した場合は遭難者として検索対象になります。

2 日目 グループ 2 09:00～09:14/グループ 1 09:15～09:29

イベントセンター前広場よりスタートします。2 日目の得点表は 1 日目フィニッシュ後より本部受付にて配布します。2 日目の得点表はスタートでは配布しないので事前にピックアップをお願いします。

追加の注意事項があれば 8:45 ごろとスタート開始時にマイクアナウンス等でお知らせします。

2 日目は 1 日目とはグループ順を入れ替えてスタートします。その他のスタート方法や注意事項は 1 日目と同じです。

ライト バイク 共通	グループ 1	グループ 2
2 日目 スタート時間	09:15～09:29	09:00～09:14

2 日目 フィニッシュ&表彰式

フィニッシュ方式は 1 日目と同じです。2 日目はデータ読み込み後 SI チップを返却してください。

上位チームに限らずランダムに抜き打ちで装備チェックを行う場合があります。フィニッシュは **14:00** に閉鎖します。

2 日目および 2 日間の結果速報はウェブ上で公開し、14:30 頃までにイベント本部前に公式記録を掲出します。

14:30 頃からイベント本部にて表彰式を行う予定ですが、競技の進行状況によって変更となる場合があります。

2 日目 リタイア・タイムオーバーの場合

途中でリタイアする場合も必ずフィニッシュへ向かい、SI チップの読み取りを行ってください。フィニッシュ閉鎖後に戻った場合も必ず計測センターまたは受付にて、SI チップを読み取ってください。SI チップの読み取りをしていないと遭難者として検索対象になります。

14:00 までにフィニッシュへ戻ることができない場合は積極的にイベント本部と連絡を取り合ってください。日没を迎えた場合は、その場に留まり救援を待ってください。

6. 必須装備リスト

MANDATORY EQUIPMENT LIST

下記の装備リストは必要最小限のリストにすぎません。自然の中で開催される、サポートのない競技であることを十分に理解し、自身の安全を確保できる必要な装備を参加者自身で決定し携行してください。

なお、主催者は参加者の安全確保のため、非常時に必要となる装備がない場合やルール違反があった場合、競技への参加を拒否および中止させる権利を有しています。

装備チェックについて

出場登録時に必須装備の確認は行いません。しかし必須装備を用意することは安全を確保する上で非常に重要です。そのためスタート時やキャンプ地、フィニッシュ時などに、ランダムに装備チェックを行います。この装備チェックはすべてのチームに可能性があります。チェック時に必要な装備が不足していることが判明した場合は失格とします。

個人で必携するもの

- ・フード付き防水ジャケット(シーム処理の施された防水製品に限る)
- ・防水パンツ(シーム処理の施された防水製品に限る)
- ・山のランニングやウォーキングに適した服 (ライトのみ)
- ・トレイルに適したシューズ (ライトのみ)
- ・サイクルスポーツに適した服 (バイクのみ)
- ・ライト&電池 (8 時間以上使用可)
- ・ホイッスル&コンパス
- ・地図 (イベント主催者より供給)
- ・ファーストエイドキット
- ・エマージェンシーシート(袋状のものに限る)、又は防水シエラフカバー
- ・リュックサックまたはバイクパック
- ・非常食
- ・ウォーターボトル・ハイドレーションパックなどの給水用具
- ・バイク修理キット (バイクのみ)
- ・ヘルメット (バイクのみ)

禁止装備

以下のものについては禁止とします。

- ・動力装備
- ・動物

7.表彰式と賞品

PRIZES & AWARDS

2 日目 14:30 よりイベント本部前にて表彰式を行います。なお競技の進行状況によって変更となる場合があります。

表彰

ライト、バイクとも下記について表彰します。

総合 1 位、2 位、3 位:	全チームが対象
女子 1 位:	女性のみ構成されるチームが対象
混合 1 位:	男女で構成されるチームが対象

賞品

ライト、バイクの総合優勝チームには賞品を進呈します。

8.前日受付について

イベント前日の 7 月 21 日 15:00~ 21:00 まで前日受付が可能です。

- ・両日のコースマップと 1 日目の得点表、SI チップを受付時に配布します。
- ・受付後に地形確認やルートの作戦会議が行えます。またイベントスタッフに地図読み・コンパスワーク等のアドバイスを受けることも出来ます。
- ・キャンプサイトでの宿泊も可能です。ただし、必ず受付をしてからテントの設営を行ってください。受付前および受付終了時刻以降のテント設営は禁止となります。イベント専用駐車場での車中泊は受付前および受付終了時刻以降でも可能です。但しエンジンのかけっぱなし、その他近隣の騒音になるような行為はくれぐれもご遠慮ください。

9. イベント協力・協賛

■ 協力

株式会社岩岳リゾート
白馬村
小谷村

■ 協賛 (順不同)

RawLow Mountain Works	ALTRA
rigfootwear	BRING
Jindaiji mountain works	CLAMP
さかいやスポーツ	サイクルハテナ
MONORAL	milestone
FLOAT OUTDOOR	Jindaiji Mountain Works
welldone	ゼンニュートリション
Trippers	山と道
DELTA KYOTO	paagoworks
HIKER TRASH	サークルズ
発酵温浴 nifu	

10. イベント役員

OMM LITE/BIKE は下記の役員と国土舘大学医療班、多くのボランティア、地域のみなさまのご協力によって運営されています。

主催 OMM LITE/BIKE 実行委員会

イベントディレクター	小峯 秀行	(株式会社ノマデックス)			
コミュニケーションディレクター	Jeff Jensen	(株式会社ノマデックス)			
イベントヘッドクォーター	野村治子	(株式会社ノマデックス)			
テクニカルディレクター	小泉 成行	(以下、公益社団法人日本オリエンテーリング協会)			
テクニカルディレクター (補佐)	谷川 友太	坂野 翔哉			
計測スタッフ	後藤 孔要	田中 洋江			
競技運営スタッフ	早川 秀人	大西 浩	久保田 篤	山田 直文	佐藤 文
	高柳 知朗	高野 兼也	村越 久子	出野 幹夫	出野 由夏
	根本 達雄	本間 晃	森下 晃成	渡辺 達也	大澤 貴子
SPECIAL THANKS	オリエンテーリングクラブ	サン・スーシ	大場 隆夫		